

## 平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

### 2 款 総務費

#### 1 項 総務管理費

東京本部 (03-5212-9077)

#### 9 目 県外事務所費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取地域学講座開催事業	2,161	2,163	△2				2,161	

トータルコスト	6,195千円 (前年度 6,306千円) [正職員：0.5人]
主な業務内容	講座・シンポジウムの開設、現地視察旅行造成、大学との連絡調整、負担金支払
工程表の政策目標 (指標)	首都圏における観光等情報の収集・発信 鳥取への誘客の促進

#### 事業内容の説明

##### 1 事業の目的・概要

首都圏の大学において鳥取県または鳥取県周辺をテーマとした地域学講座等を開催することにより、首都圏在住者や学生に対して本県の魅力を発信し、認知度を高める。

また、地域学講座等に連動した趣味性の高い現地視察旅行を造成することにより、本県への誘客を促進する。

##### 2 主な事業内容

###### (1) 明治大学での鳥取学講座 (1,000千円)

想定テーマ	2テーマ (1) 女性初の弁護士 中田正子 (2) 食のみやこ鳥取県
講座内容	講義6回(1テーマにつき3回)、現地視察旅行(鳥取)
講師	明治大学教授、鳥取県関係者ほか
定員	200名(1テーマ100名×2)
開催時期	10月～11月

###### (2) 東海大学での地域学講座 (770千円)

###### (ア) 島根県との連携講座開催

想定テーマ	出雲神話
講座内容	講義2回、現地視察旅行(鳥取・島根)
講師	鳥取県、島根県から各1名
定員	100名程度
開催時期	10月～11月

###### (イ) 岡山県との連携講座開催

想定テーマ	鳥取・岡山の鉄道遺産を訪ねる
講座内容	講義2回、現地視察旅行(鳥取・岡山)
講師	鳥取県、岡山県から各1名
定員	100名程度
開催時期	10月～11月

###### (3) 相模女子大学との連携によるシンポジウム開催 (391千円)

相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科の学生による「地域ブランド」研究の素材に鳥取県(農林水産業、観光物産、まちづくり等の情報)を提供し、研究発表やシンポジウム等への開催協力を通じて、学生や地域住民への情報発信と誘客(研究旅行)促進を行う。

想定テーマ	食・農を通じた地域交流
開催時期	9月～10月

##### 3 これまでの取組状況、改善点

知的好奇心の高い層へ本県の文化的・歴史的な魅力を発信することで、本県に対する認知度や関心の向上が図られ、受講者に対する現地視察旅行商品を造成した結果、具体的な誘客に結びつき始めた。

今後も引き続き、話題性の高い素材探しと情報発信を行っていく。